

MC 歯科医師対象 Mouth Clinician

臨床実習ベーシック 福岡 3日間集中コース

これまで臨床実習基礎コースに参加されたDr.はこんな問題を抱えていらっしゃいました。

上顎臼歯の遠心隣接面を見ながら形成するのが難しい。

覗き込み、直視のクセが抜けず、時間のかかる治療だと身体が辛い。

もっと上手にミラーを使いたいが、使い方が分からない

ポジショニング、グリップ、レストの位置が分からない。いまさら他人に聞けないし、人によって方法が異なる。いったいどれが正しいのか

pdによる診療風景



臨床実習ベーシックコースの内容

1日目の講義内容

- 1) 自然な姿勢で形成ができない問題点
- 2) 診療台は自然な動きを妨げていないか
- 3) 自分の生理的な動きを妨げていないか
- 4) 患者さんと術者の好ましい位置関係
- 5) ミラーの上手な使い方
- 6) ポジショニングの考察
- 7) グリップの種類

2日目の実習内容

- 1) pd 診療台でのセッティング
- 2) シュミレーションマネキンヘッドでの形成
- 3) 各部位の人工歯使用
- 4) ポジショニングの自覚
- 5) グリップ、レストを自ら見つける
- 6) ミラーが濡れても見えるコツ
- 7) ムリ、ムラ、ムダ、ムジユンの無い形成

3日目の講義と実習内容

- 2 日目に続き、さらに難しい部位臼歯部隣接面の形成を行います。臨床の中でいくつかの重要なヒントやノウハウを提供します。

★pdとは (Proprioceptive Derivation)

生理学的由来の言葉で、五感のほかに人間が持っている固有感覚を最重要視し、私たちの姿勢、動き、器具、道具などに対して、その是非を判断、評価するプロセスです。

受講後アンケートから

- 今までほぼ我流の姿勢で形成しており、腰痛、肩の疲労に悩まされていました。このコースを受けて、いかに自分が無理な姿勢で治療していたかを痛感させられました。
- レクチャー、実習どちらも順序良く理解しやすかった。自分の形成における欠点がよくわかった。少人数制と言う事で、メンバーと話をしながら有意義にできたのもよかった。
- 私は研修修了3年、若いうちにpdと出会って良かったと思います。我流が身につく前に、1から基本を取り入れられたことが良かった。
- 今まで第4指レストで形成をしていたので、第3指レストにとっても抵抗があった。実習2日目の終了頃が一番上手く出来たが、1週間経つと基に戻った。今後自分でも注意していきたい。
- ミラー視について、自己流で行っていた際に浮かんだ疑問が、しっかりとシステム化された方法を説明して頂き、かなり解決出来たのではないかと思います

★MC呼称について (Mouth Clinician) UCLAのPeriodonticsの教授Dr Henry Takeiは“歯の医者”ではなく“口の医者”であると認識すべきで、自らをMouth Doctorと自称しています。最近の数校の米国歯学部では卒業生にDDS(Doctor of Dental Surgery)ではなくDMD(Doctor of Medicine in Dentistry)の称号を付与しています。GEPECも数年前から歯科医師を口の臨床家(Mouth Clinician,MC)に名称を変更することを提案しています。

主催：PD普及の会/GEPEC 後援：(株)モリタ

お問合せ、お申し込みは PD普及の会 事務局までお願いいたします。

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6-2-3 チサン第7新大阪 1214

TEL : 06-6100-3810 FAX : 06-6100-3801 E-mail : info@pdp.sc